



第22回全道造形教育研究大会

分科会・指導案

あひまろ・とがち

主 催 北海道造形教育連盟 帯広市教育研究会 十勝造形サークル
後 援 北海道教育委員会 帯広市教育委員会 十勝町村教育委員会連絡協議会
期 日 昭和47年7月30日（日） 31日（月） 2日間
会 場 帯広市立柏小学校（帯広市東8条南10丁目 バス駅前発 柏校下車）

— 目 次 —

● 挨拶

北海道造形教育連盟委員長	……	1
帯広市教育委員会教育長	……	2
帯広市教育研究会長		
十勝教育長部会々長		
大会運営委員長	……	3

● 日程	会場案内図	……	4
------	-------	----	---

● 主題	公開授業	……	5
------	------	----	---

● 分科会		……	6
-------	--	----	---

● 授 業

幼稚園	製作	……	8
小 1	絵画	……	9
小 1	デザイン	……	10
小 2	工作	……	11
小 3	鑑賞	……	12
小 4	絵画	……	13
小 5	彫塑	……	14
小 6	彫塑	……	15
中 1	版画	……	16
中 1	デザイン	……	17
中 2	絵画	……	18
中 2	工芸	……	19
中 3	彫塑	……	20
高校	版画	……	21
単 複	絵画	……	22

● 第22回全道造形教育研究会

帯広大会を迎えて

北海道造形教育連盟委員長

高橋 栄吉

本日ここに本道穀倉十勝平原の中心帯広市において、十勝帯広連盟支部の先生方が二ケ年の準備を実のらせ盛大に開催されましたことはまことに感謝と感激でございます。

このために道教委、帯広市、ならびに当市教育研究会、同教育委員会そして十勝町村教育委員会連絡協議会をはじめ、関係諸団体、幼小中高校の御理解となみなみならぬ御協力をたまわりまして全道造形教育にたずさわっておられる会員の方々の御参加をいただきましたことを心から有難くお礼申上げる次第でございます。

本連盟の全道研究大会は、すでに二十一年間に及び全道各地において開催され本道造形教育の伸展に寄与してまいりました。年々質的にも現場実践を基盤とする明日と未来を志向しつつ研鑽をつみかさねその成果は、流動する社会のなかにあつて、本道教育水準の向上とひろく世界的視点にたち、国際美術会議にも提案発表されまして、その特性の定着を幾多先輩諸先生方の貴重な研究の上に今日をむかえております。

このたびの研究主題の設定されました意図は、過去五ケ年に及ぶ継続研究の上にうちたてられたものでありさらにこれを深化拡充し、焦点化され具体的教壇へ直結をはかるところにあります。すなわち二日間に提案発表される貴重な実践成果は、さらに細大もらさずきびしく分析検討されまして、その核心を追求し、のこして生かされるもの、さらに新しい分野の開拓にその手がかりとなるもの、さらにまったく新たな視点から展望してうちたてられるものを、さぐるころにあります。適応と撰択と創造へのみちすじを究明されることを期待するものでございます。

それには現実いきびしいメスを入れての実証性と思索がなされなければならないと存じます。変動の急速化に即応し、その底流のなかに人間性の求めるものを探求し、その本来性

をとりもどし、さらに時流に、ほんろうされ虚無的な茫然自失の様態を覚醒せしめ、多様化の重圧のなかに失ってはならないものの価値と、衝動的刹那的行動の堆積がもたらす不感症的喪失感から脱却しなければなりません。

現実を直視し、洞察し、その形成のなかに再構成され、認識化される、いとなみは決して容易なことではありません。苦悩と挫折、転移と逃避の連続のすがたが展開されることが予想されます。しかしここに実践の交流と協力が要望されるわけでございます。

弁証法的発展は進歩をもたらす、あゆみであります。その求めていく方向性が、たんなる解放的脱脚や浅薄なカタログ的行動の破碎にとどまらず、その過程において、鋭い視線と、深い思索がなければならぬと思います。造形教育も純粹な世界と機能性の波にペールをかけられ新事態に対処し、恒久的未来性を帯びる媒体の設定に叡知と忍耐と協力が必要となります。

図太い神経と強靱な追求力、そして創造的形成は、偶然性のなかからは決して生まれるものではなく、過去の文化財の遺産をどのような視点から、ほりおこされるかによって、よりゆたかに、より価値的なものへ発展され、決して創造は無から突如として、ひらめく天才の様態を期待するものではありません。より厚い層のなかからうまれでる普遍的な土壌をつくり出すところにわれわれの念願がございませぬ。

ひとりひとりのこどもたちが、未来に挑戦し、営々と学びとる形成過程をみつめるとき、造形教育が個々のこどもたちの人間性を、もっとも大切にしていかなければなりません。折角の本大会の討議過程において、みなさまのご協力によりまして、効率的運営がなされ、参会したみのりが各会員の糧となりますよう祈念して止まない次第でございます。

●ごあいさつ

この度、第22回北海道造形教育研究大会を当市において開催するに当たりまして、全道各地より遠路、ご出席の皆様の日頃のご研鑽に敬意を表するとともに、本大会の運営に当られた各位のご熱意に対し、深く感謝を申しあげる次第です。

ご承知のとおり、現在、子ども達をとり囲む社会環境は、益々情報化の一途を辿っております。子ども達が本来もっているみずみずしい創造力や個性をひき出し、それらを如何に育てるかということは、教育活動全領域の中心課題であると申しても過言ではありません。本大会におきまして設定された研究主題は、まことに時代的要望を受入れていただいたも

●期待をよせて

第22回北海道造形教育研究大会が帯広市柏小学校を会場として開催されますことを、地元側として心からうれしく思うものでございます。自主性創造性を高める教育をテーマにかけられる研究体制は数多く見受けられ、我々の希求するものですが、自主性創造性は全く異質なものの並列なのだろうか、自主性のない創造性というものはありうるのだろうか、創造性は即自主性でないのかと、素朴な思考を重ねてみるのです。

創造性を創造的能力と創造的態度にわけ、さらに創造的能

●人間回復への造形研を

自然との「あそび」を忘れた（うばわれた）幼児や子供たち、幼稚園児から大学生まで何かしら人間の本質とかわりのない教育にしばられ、そして地球が死形成に化しそうになり、人類の生存さえ疑問視しなければならない索漠とした時代に追いこまれました。

今回、北海道造形教育連盟・十勝造形サークル・帯広市教育研究会の主催をもって、北海道造形教育研究大会を十勝の帯広市において開催され、本日より二日間

“未来に生きるこどもの造形教育”をテーマに……生活に根ざした造形表現をどう高めるか……を具体的に研究討議されることは、当地方における造形教育の啓発と進展に画期

帯広市教育委員会教育長

上 田 章

のと思われま

地元、帯広・十勝で日頃、活躍されております幼稚園から高等学校までの実践を、皆様の研究素材としてご紹介できますことは、当地の教育発展の上からも大きく貢献するものと期待しております。

当地は、雄大な日高山系の裾に広がります風光明媚な大自然に恵まれております。二日間、ご研修の成果を十分に挙げられますよう祈念し、本大会のご成功をお祝い申し上げます。

帯広市教育研究会長

池 田 健

力を創造的思考力と創造的表現力にわけ、創造的態度を創造的意欲と創造的活動にわけて、きめこまやかに創造性教育を組織づけている文献を見たことがあります。造形教育はその創造的表現力の立役者であろうと考えます。帯広十勝の風土にはぐくまれた創造性が、素材として提供され、全道造形研究者と交流が行われることは、帯広十勝の教育界にとっては、きわめてありがたいことで、未来への大きな指針になることを期待してやみません。

十勝教育長部会会長

村 田 政 之

的な飛躍をもたらすものと確信いたしますと共に、これはただに造形教科の一分野にとどまるものでなく、幼児からの情操教育による人間資質形成一人間の在り方・生き方の一基本に迫るものであり、またそれぞれの年令・発達段階の中で、造形表現の過程における直観や思索・自己と対象物との一元的融合などについて、教育的作用上の課題解明がなされることなども予見され、当地方の教育関係者の一人として喜びにたえません。主催側諸先生のご労苦に深く感謝申し上げますと共に、参加者皆さんの熱っぽい意欲によって、本研究大会が盛会裡に終始されることをお祈りいたします。

●ごあいさつ

大会運営委員長
高橋元春

第22回全道造形教育研究大会が帯広市で開催することに当りまして、全道各地よりご参集下さいました先生方に、心から歓迎のご挨拶を申し上げます。

今大会の準備につきましては、帯広市教育研究会、図工・美術部員と十勝造形サークル員が共に手をたずさえ幼稚園、高校部の協力を得て、北海道の美術教育の発展という大きな展望に立ち、この大会が有効適切に運営され所期の成果をあげるために、誠心誠意努力して参りました。

ふり返りますと、昭和34年の第9回、帯広大会に次いで今回が2度目でもあり、前回の大会を生かしてより充実した運営が計画されるはずですが、何せ13年を過ぎた今、記憶もとぼしく全く過去のものとなっております。

それだけに初心に返って励んだわけですが、種々準備不ゆきとどきな点が多く、参加の先生方にはご不便をかける事と存じますが、ご勘弁いただきたいと存じます。しかしながら一面考えて見ますと、この研究大会が美術教育の前進にとって十分な貢献をもたらすか否かは、出席者各位の隔意なき善意の結果によるものであることは申すまでもありません。

何卒皆様方のご協力によって研究の成果があげられますようお願いしてやみません。

今回、帯広、十勝大会の研究の方向として、美術教育を通して未来に生きる望ましい人間像の追求をめざして、北海道

造形教育連盟のかかえるテーマ「未来に生きる子どもの造形教育」の課題解決に取り組んで参りました。子ども達に大きな影響を与えているものに、物心両面にわたっての社会の激しい変化があげられます。この複雑多岐な情報化社会を生きぬくために、豊かな創造力と、主体的活動のできる子ども、いいかえれば、現実の社会を科学的に見きわめ積極的に未来社会を切り開く豊かな創造力をもちうる人間でなければなりません。そうした人間を育成するためにあせらず地道にねばり強くこの研究を進めたいと念願しております。

とかく、効を急ぎ、主テーマがスローガン化し内容の浅いものになることも多々あります。この研究に取り組んで一年有余わずかの期間であります。副テーマ「生活に根ざした造形表現をどう高めるか」をかかげ、身のまわりをよく見つめさせる事から出発し、更に教科制の上に立って1時間の学習を大切に、「何を教え」「何を創造させ求めるか」授業実践を重ねて参りました。したがって、ようやく糸口をつかんだ程度で、主テーマへの到達はまだまだ多くの時間と期間を要することと存じます。又、美術教育の分野に横たわる課題も多くございますし、この大会を通して、皆様方の建設的なご意見とご協力によって本大会が所期の成果をもたらすよう心からお願い申し上げます。

●ごあいさつ

この度、第22回北海道造形教育研究大会を当市において開催するに当たりまして、全道各地より遠路、ご出席の皆様の日頃のご研鑽に敬意を表するとともに、本大会の運営に当たられた各位のご熱意に対し、深く感謝を申しあげる次第です。

ご承知のとおり、現在、子ども達をとり囲む社会環境は、益々情報化の一途を辿っております。子ども達が本来もっているみずみずしい創造力や個性をひき出し、それらを如何に育てるかということは、教育活動全領域の中心課題であると申しても過言ではありません。本大会におきまして設定された研究主題は、まことに時代的要望を受入れていただいたも

帯広市教育委員会教育長

上 田 章

のと思われま。

地元、帯広・十勝で日頃、活躍されております幼稚園から高等学校までの実践を、皆様の研究素材としてご紹介できまことは、当地の教育発展の上からも大きく貢献するものと期待しております。

当地は、雄大な日高山系の裾に広がります風光明媚な大自然に恵まれております。二日間、ご研修の成果を十分に挙げられますよう祈念し、本大会のご成功をお祝い申し上げます。

●期待をよせて

第22回北海道造形教育研究大会が帯広市柏小学校を会場として開催されますことを、地元側として心からうれしく思うものでございます。自主性創造性を高める教育をテーマにかがける研究体制は数多く見うけられ、我々の希求するものですが、自主性創造性は全く異質なものの並列なのだろうか、自主性のない創造性というものはないのだろうか、創造性は即自主性でないのかと、素朴な思考を重ねてみるのです。

創造性を創造的能力と創造的態度にわけ、さらに創造的能

帯広市教育研究会長

池 田 健

力を創造的思考力と創造的表現力にわけ、創造的態度を創造的意欲と創造的活動にわけて、きめこまやかに創造性教育を組織づけている文献を見たことがあります。造形教育はその創造的表現力の立役者であろうと考えます。帯広十勝の風土にはぐくまれた創造性が、素材として提供され、全道造形研究者と交流が行われることは、帯広十勝の教育界にとっては、きわめてありがたいことで、未来への大きな指針になることを期待してやみません。

●人間回復への造形研を

自然との「あそび」を忘れた(うばわれた)幼児や子供たち、幼稚園児から大学生まで何かしら人間の本質とかかわりのない教育にしばられ、そして地球が死球に化しそうになり、人類の生存さえ疑問視しなければならぬ索漠とした時代に追いこまれました。

今回、北海道造形教育連盟・十勝造形サークル・帯広市教育研究会の主催をもって、北海道造形教育研究大会を十勝の帯広市において開催され、本日より二日間

“未来に生きるこどもの造形教育”をテーマに……生活に根ざした造形表現をどう高めるか……を具体的に研究討議されることは、当地方における造形教育の啓発と進展に画期

十勝教育長部会会長

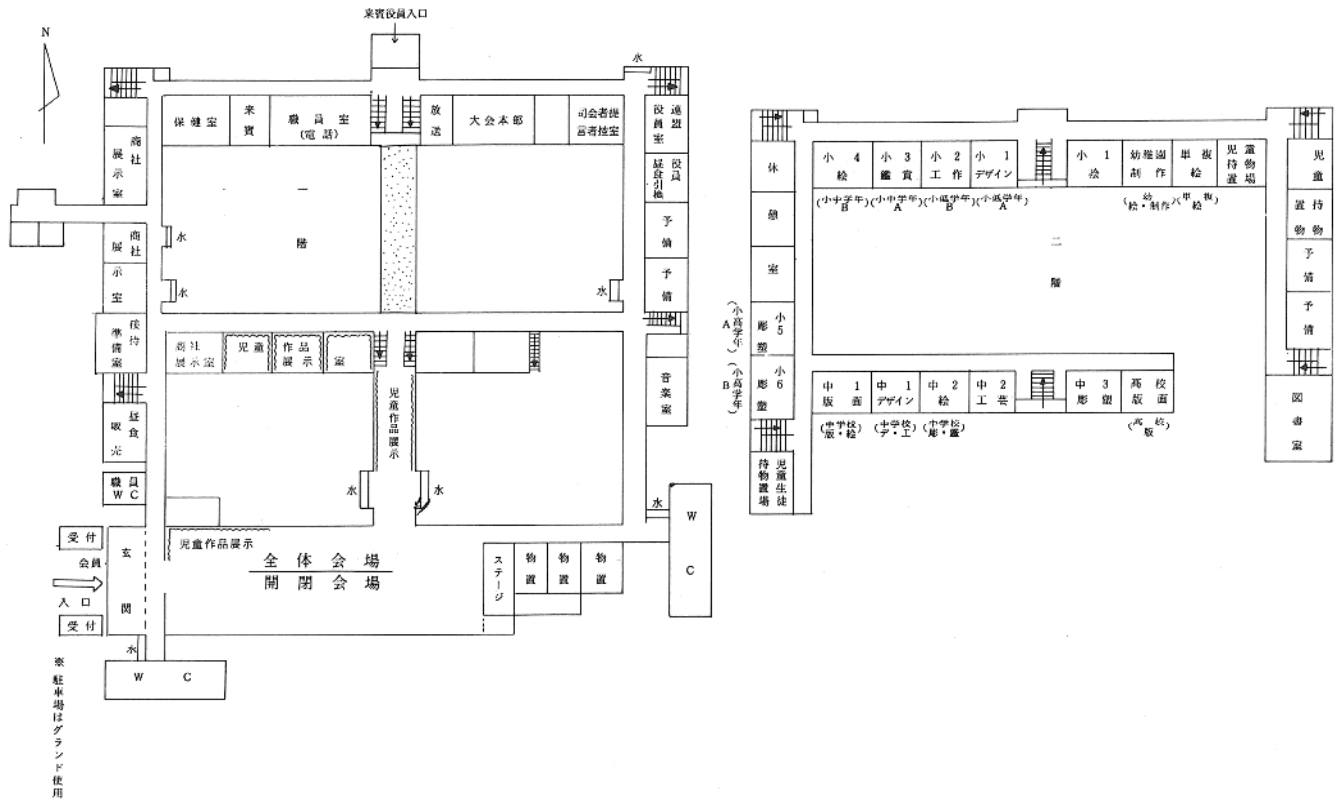
村 田 政 之

的な飛躍をもたらすものと確信いたしますと共に、これはただに造形教科の一分野にとどまるものでなく、幼児からの情操教育による人間資質形成—人間の在り方・生き方—の基本に迫るものであり、またそれぞれの年令・発達段階の中で、造形表現の過程における直観や思索・自己と対象物との一元的融合などについて、教育的作用上の課題説明がなされることなども予見され、当地方の教育関係者の一人として喜びにたえません。主催側諸先生のご労苦に深く感謝申し上げますと共に、参加者皆さんの熱っぽい意欲によって、本研究大会が盛会裡に終始されることをお祈りいたします。

● 日 程

	8:30	9:00	9:50	10:00	10:50	11:00	12:00	13:00	16:00	18:00	
一 日 目	受 付	開 会 式	公 開 授 業		分 科 会		分 科 会		懇 親 パ ー テ ィ ー		
二 日 目	8:30	9:00	分 科 会				12:00	閉 会 式			

● 会場案内図



主 題

未来に生きるこどもの造形教育
— 生活に根ざした造形表現をどう高めるか —

- ・幼稚園の部 幼児期における たのしい 造形活動
- ・小学校低学年の部 あらわすことの喜びをもつ 造形活動
- ・小学校中学年の部 進んで創り出す 造形活動
- ・小学校高学年の部 たしかな目で みつめる 造形活動
- ・中学校の部 生活に根ざし 主題に迫る 造形活動
- ・高等学校の部 技法の制約を どう生かして 個性的な表現をさせるか
- ・単復校の部 表現活動を豊かにするための図工科指導

公開授業

学年	領域	教材名	氏名	学校名
幼	製作	ふね	増田 綾子	帯広 渡辺学園幼稚園
小 1	絵画	みんなでのろう	高橋 セツ子	帯広 豊成小学校
小 1	デザイン	すてきなくびかざり	谷内 徹	十勝 新得屈足小学校
小 2	工作	かんむり	寺本 吉明	十勝 足寄西小学校
小 3	鑑賞	私達のまち	森 厚夫	帯広 東小学校
小 4	絵画	笛をふく人	高橋 ミチ	帯広 稲田小学校
小 5	彫塑	運動をする人	成田 隆	十勝 芽室小学校
小 6	彫塑	建築現場で働く人	森戸 春樹	帯広 大空小学校
中 1	版画	働く人	小西 三雄	十勝 鹿追中学校
中 1	デザイン	クラスの仕事	宮沢 克忠	帯広 第1中学校
中 2	絵画	身近かなもの	岡沼 秀雄	帯広 第3中学校
中 2	工芸	ひもによるかざりびん	斉藤 健昭	十勝 幕別白人中学校
中 3	彫塑	仲間たち	小室 吏	帯広 第6中学校
高校	版画	森の詩	中谷 有逸	帯広 柏葉高等学校
単復	絵画	砂利工場で見えたこと	大越 哲也	十勝 清水下人舞小学校

分科会 (1日目) 30日

分科会名 (公開授業)	領域	司 会	提 言	記 録 者
幼稚園	絵	○ 長尾みつえ (札幌・みなみ幼) ○ 塩原 文 (札幌・栄光幼)	○ 天野 和幸 (帯広・聖公会幼)	細川良雄 日塔幸子 (東小) (上士幌)
小 1	絵	○ 中里 馨 (空知・栗山小) ○ 中嶋 幸男 (空知・赤平小)	○ 佐伯 進 (室蘭・日新小)	荒井正春 鈴木新子 (上士幌小) (稲田小)
小 1	テ	○ 吉田 義晴 (網走・滝上小) ○ 小松 厚 (紋別・元紋小)	○ 紺野 哲明 (十勝・屈足小)	赤津達治 筒井一子 (白人小) (東小)
小 2	工	○ 岩田 宏一 (根室・標津小) ○ 中村 彰 (根室・標津中)	○ 金子 章 (帯広・帯広小)	佐川春二 後藤教子 (清水小) (北栄小)
小 3	鑑	○ 石塚 潔 (室蘭・水元小) ○ 片平 浩史 (室蘭・常盤小)	○ 伊藤 晴記 (札幌・本郷小)	出村英和 糸川昌子 (駒島小) (稲田小)
小 4	絵	○ 池本 良三 (苫小牧・東小) ○ 内潟 光尚 (苫小牧・北栄小)	○ 石井 久 (函館・港小)	徳永 晃 安藤和江 (本別小) (西小)
小 5	彫	○ 早弓 弘行 (空知・吉住小) ○ 藤原 明 (空知・下鶉小)	○ 中村 俊昭 (帯広・川西小)	北 信子 橋口 慧 (帯小) (東小)
小 6	彫	○ 伊藤 英世 (札幌附属小)	○ 関 健治 (釧路・桜ヶ岡小)	岡崎久憲(糠内小) 佐藤忠司(広野小)
中 1	版	○ 森 健 (札幌・中島中) ○ 坂田 武夫 (札幌・八条中)	○ 田口 丞二 (帯広・三中)	片倉武彦 守谷通利 (清水小) (四中)
中 1	テ	○ 稲船 正男 (釧路・東中) ○ 羽生 輝 (釧路・景雲中)	○ 中西 亮昭 (十勝・中札内中)	佐藤後顕 東 英子 (足寄中) (盲)
中 2	絵	○ 田辺 康夫 (函館・新川中) ○ 藤井 昭夫 (函館・附属中)	○ 丸谷 雄次 (帯広・五中)	谷内 要 田村富子 (上士幌中) (広野小)
中 2	工	○ 松川 仁 (稚内・中央小) ○ 藤井 正治 (稚内・稚内中)	○ 斉藤 真琴 (帯広・五中)	中谷茂弘 間庭百合子 (上士幌中) (稲田小)
中 3	彫	○ 小杉 信雄 (旭川・東光中) ○ 鈴木 俊昭 (旭川・光陽中)	○ 横田 裕美 (十勝・幕別中)	佐藤龍明 石田恵子 (広尾中) (清川中)
高 校	版	○ 木下 勤二 (釧路・江南高) ○ 長尾 教逸 (深川・西高) ○ 田村 宏 (岩見沢女子高)	○ 千葉 光男 (釧路・湖陵高) ○ 奈良 孝哉 (滝川高)	石川幸雄 青木清一 (赤平西) (三条)
単 複	絵	○ 山谷 礼司 (渡島・亀田小) ○ 近堂 俊行 (渡島・鹿部小)	○ 湯川 守 (十勝・松沢小)	平 直秀 真鍋暁士 (光和小) (清水小)

分科会 (2日目) 31日

分科会名	領 域	司 会	提 言	記 録 者
幼 稚 園	絵・製作	○ 長尾みつえ (札幌・みなみ幼) ○ 塩原 文 (札幌・栄光幼)	○ 得本 良子 (札幌・札幌幼)	三国 絃子 安藤 利江 (北栄小) (西 小)
小低学年A	絵・工・デ	○ 吉田 義晴 (網走・滝上小) ○ 小松 厚 (紋別・元紋小)	○ 吉田 京子 (苫小牧・大成小)	鈴木 新子 北 信子 (稲田小) (帯 小)
小低学年B	彫・版	○ 中里 馨 (空知・栗山小) ○ 中嶋 幸男 (空知・赤平小)	○ 高橋 元春 (帯広・緑丘小)	橋口 慧 赤津 達治 (東 小) (白人小)
小中学年A	絵・版	○ 池本 良三 (苫小牧・東小) ○ 内潟 光尚 (苫小牧・北栄小)	○ 中坪 市郎 (石狩・大森小) ○ 空 嘉英 (十勝・豊頃小)	間庭百合子 田村 富子 (稲田小) (広野小)
小中学年B	工・デ	○ 石塚 潔 (室蘭・水元小) ○ 片平 浩史 (室蘭・常盤小)	○ 細見 浩 (根室・中標津・ 若竹小) ○ 前田 久芳 (帯広・緑丘小)	筒井 一子 後藤 教子 (東 小) (北栄小)
小高学年A	版・絵	○ 早弓 弘行 (空知・吉住小) ○ 藤原 明 (空知・下鶴小)	○ 岡沼 淳一 (十勝・上士幌小) ○ 鈴木 茂 (北見・上常呂小)	糸川 昌子 佐藤 忠司 (稲田小) (広野小)
小高学年B	デ・工	○ 谷 勲 (札幌・九条小)	○ 成瀬 登 (帯広・上帯広小)	真鍋 暁士 細川 良雄 (清川小) (東 小)
中 学 校	版・絵	○ 森 健 (札幌・中島中) ○ 田辺 康夫 (函館・新川中)	○ 山元 勝雄 (十勝・更別中)	東 英子 岡岡 久憲 (盲) (糠内小)
中 学 校	デ・工	○ 稲船 正男 (釧路・東中) ○ 大森 正明 (釧路・取島中) ○ 藤井 正治 (稚内・稚内中)	○ 浅野 富士男 (上川・上富良野中)	守谷 通利 須田 学 (四 中) (西当緑小)
中 学 校	彫・鑑	○ 小杉 信雄 (旭川・東光中) ○ 鈴木 俊昭 (旭川・光陽中)	○ 及川 輝夫 (旭川・東光中)	松山 智子 石田 恵子 (明星小) (清川中)
高 校	版	○ 木下 勲二 (釧路・江南高) ○ 長尾 教逸 (深川・西高) ○ 田村 宏 (岩見沢女子高)	○ 千葉 光男 (釧路・湖陵高) ○ 奈良 孝哉 (滝川高)	中谷 有逸 石川 幸雄 (柏 葉) (赤平西)
単 複	絵	○ 山谷 礼司 (渡島・亀田小) ○ 近堂 俊行 (渡島・鹿部小)	○ 山本 繁秋 (渡島・東大沼小)	井上 泉 藤山 信雄 (盲) (上居辺小)

<幼 製作>

ふ ね

指導者 増 田 綾 子
園 児 渡辺学園幼稚園26名

1. 題材について

海は、夏の代表である。

広い海は、子供の夢を大きく育て、そこに浮ぶ船は、子供の空想と期待のアイドルであります。船の製作により、子供の創造性を伸ばしていく事により、自分の世界をもっと拡大させ、又、粘土に親しませ、その作品の造形的立体性をわからせたい。亦、それぞれの工夫と努力により、皆んなで楽しく製作し、観察し、創造の喜びを味わせたい。

2. 題材のめあて

- (1) 子供の夢を楽しく豊かに表現する。
- (2) 粘土の感触を味わい本能的な満足感を味わう。

5. 本時のながれ

3. 指導計画

- (1) 海の歌をうたう。
- (2) 砂場遊びをする。
- (3) いろいろな船について話し合う。
- (4) 粘土で船をつくる。

4. 本時のおさえ

- (1) 自分が、その船に乗って海を航海している気持ちにさせる。
- (2) 工夫して、伸び伸びつくらせる。

分	ながれ	あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
10時	準備	粘土、粘土ヘラ、粘土板 旗（子供に前もって作らせておいたもの）		海の装置 いろいろな船をかべに刷っておく。
10時 10分	条件構想	○ 海の歌 ○ かべに刷ってある船を見せて、船について話し合う。 ○ 粘土を粘土板の上にひとりあたりの粘土を置いていく。	○ 海の歌をうたう。 ○ かべに刷ってある船を見る。 ○ 船を見た経験や乗った事のある船の話をする。 ○ 粘土にさわる。	○ 海、船を連想させる。 ○ それぞれ見た事のある船を話させる。 ○ 粘土に親しませるため、押したり、たぐったりさせる。
10時 20分	表現	○ どのような船をつくるか決まった人から、はじめる。	○ 船をつくる。	○ 大きく伸び伸びとつくらせる。 ○ 個別に指導する。 (ほめたり、助言したり)
10時 40分	鑑賞	○ 海を見る。	○ できた船を海に浮べる。 ○ あとしまつ。	○ みんなでつくった船を楽しく見る。

<小1・絵>

みんなで のろう

指導者 高 橋 セツ子
 児 童 豊成小学校1年34名

1. 題材について

低学年の児童は、乗り物が大好きである。町や村を走る、汽車をはじめ、バス、トラックから、飛行機、船、さらには宇宙開発の進歩につれて、月への乗り物など、児童の乗り物に対する夢は広げられていく。

「こんな乗り物が好きだ」「こんな乗り物にみんなで、乗ってみたい」というテーマをもって描かせると、自転車から宇宙船まで、でてくるだろう。

ここでは、これらの乗り物を筆を使って伸び伸びと創造的に表現させたい。

2. 題材のめあて

- 太い筆で、好きな乗り物を伸び伸びと元気いっぱいにかかせる。
- 好きな乗り物の特徴をとらえて創造的に表わさせる。

5. 本時のながれ

3. 指導計画 1時間<本時>

- 好きな乗り物について話し合わせる。
- 水彩絵の具の使い方を知らせる。
- 好きな乗り物を水彩絵の具を使ってかかせる。
- かいいた作品を展示してみんなで見させる。

水彩絵の具使用学習の本時につながる系統

うんどうかい ——— クレパス・絵の具併用

あめふり ——— 絵の具

むしとあそぼう ——— クレパス・サインペン・絵の具

みんなでののろう ——— 絵の具

4. 本時のおさえ

- 太い筆を使って、長い画面に好きな乗り物を伸び伸びと元気いっぱいにかかせる。
- 筆の使い方に慣れさせ、水彩絵の具でかく興味を持たせる。

	あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
準備	○ 用具点検 ○ 楽しい乗り物をかくことを知らせる。	○ 本時学習のめあてをつかむ。	○ 楽しい乗り物にお友達や先生といっしょに乗ることを意識する。
条件	○ 各自の経験をもとに、乗り物について、話し合わせる。 ○ 話し合いの中から、自分のかきたいと思う乗り物の予想をたてさせる。	○ 好きな乗り物、乗ってみたい乗り物について話し合う。	○ 自分の好きな乗り物をどのようにまとめるか考える。 ○ 水彩絵の具の使い方を知る。 ・ 絵の具のつけ方、筆の使い方
構想	○ 水彩絵の具を使用する約束をさせる。	○ 水彩絵の具を使用する約束をする。	
表現	○ 自分の構想に従って水彩絵の具を使って、かかせる。	○ 元気に創造的にかく。 ○ お友達や先生を乗せてあげる。	○ うれしい、たのしいなどの気持ちをこめてかく。 ○ 自分なりの、あらわし方をくふうする。
鑑賞	○ できた作品を展示して、みんなでみる。	○ 思ったこと、気づいたことを話す。	○ よくかけているところ、くふうしてかいているところをみつける。

すてきなくびかざり

指導者 谷内 徹
児童 屈足小学校1年10名

1. 題材について

・自分の身のまわりを美しく飾るという気持ちはだれでも持っているが1年生というこの期の児童はいろいろな形のもをたくさん飾ったり、色もたくさん使ってにぎやかであれば「きれいだ」「美しい」と考えるものである。このような時期に子どものもつ素朴な装飾本能を本題材を学習することによって充分満たして、味あわせたり、生き生きと意欲的に造形活動にとりくませたい。

・「すてきなくびかざり」という題材は飾る領域では二つめのものであるが（初回はつるすかざり）、発展を考えて無差別に飾るだけでなく、どんな材料をどこに使ったらよいか考えながら作るということを重視して授業をすすめていきたい。

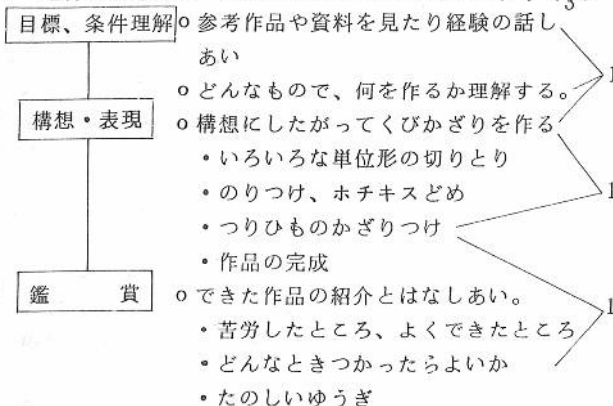
2. 題材のめあて

- (1) いろいろなものを使ってきれいなくびかざりを作る。
- (2) 立体的な表現や、身のまわりの装飾に関心をもたせる。
- (3) はさみ、ホチキスの使い方、のりのつけの方法になれる。
- (4) できた作品について活用の方法、作品のよしあしなどについて考えたりする。

5. 本時のながれ

過程	教師のはたらきかけ	児童の活動	形態
目標 理解 (5)	◎学習準備、用具の確認をする。 ◎つりひものかざりつけや作品の完成とはなしあいであることを知らせる。	◎準備をしたしかめる。 ◎学習のめあてや作り方がわかる。（作品の完成であること）	全 体
構 想 ・ 表 現 (30)	◎どのように飾をつけたらよいか考えさせる ・形や色のくみあわせ ◎自分の願いにそって、いろいろな形のかざりを作らせる。 ・いろ紙などを切りぬく ・つりひもにかざりをつけさせる。 ◎作品を完成させる。 ・作品全体について	◎かざりつけるもようを考える。 ・どんな形か ・どんな色の紙か ◎自分の考えで作る。 ・形を切りぬく ・つりひもにかざりをつける。 ・のりつけ、ホチキスどめ ◎くびかざりの仕上げをする。	個 別
鑑 賞 (10)	◎できた作品の紹介と作品についての話あいをさせる。 ・むずかしかったところ ・よくできたところ ・だれのがよくできたか ・活用のしかたについて ・あとしまつ	◎自分の作品を首にかけて見せる（見る） ◎自由にはなしあう ・発表する。 ◎あとしまつをする	全 体 個 別

3. 題材の指導計画 本時 (3/3)



4. 本時のおさえ

- ・つりひもの飾りを考えて、作品を完成させる。
- ・できた作品を紹介しあって話しあう。

かんむり

指導者 寺本吉明
児童 足寄西小学校2年43名

1. 題材について

誕生会・クリスマス・おたのしみ会や学芸会のときなど、自分たちで作ったおめんやかんむりをかぶって楽しくすることが多く、子供自身非常に興味を持つことであり、日常生活にいきいきとした喜びを持つものである。そこに創造意欲をかりたさせるものである。

「かんむり」という題材は、子供たちの欲求や夢を満足させながら、発想・表現・使用の一貫した造形活動を通して、かんむりの機能を理解し、あらわすことの喜びを持たせたい。更に色画用紙を切る、折る、曲げる、接着することや美しい装飾の技能と感覚を高める上からもよい教材と考えた。

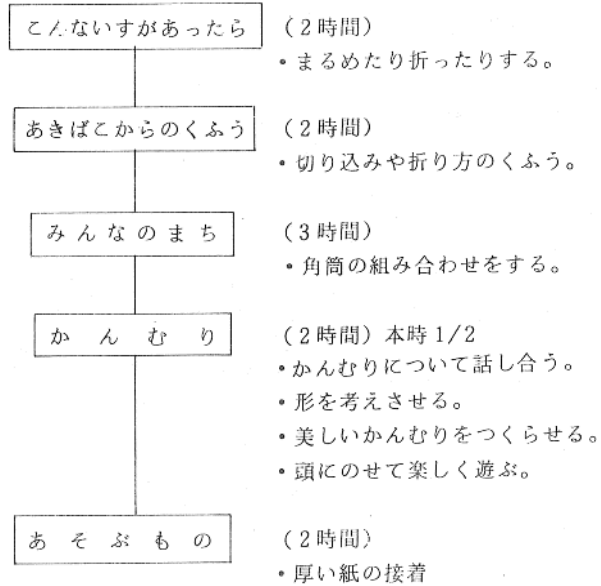
2. 題材のめあて

- 自分の頭に合わせて紙の輪をつくりそれにかざりをつけてかんむりをつくらせる。
- 色画用紙の材質や配色を考えて、美しく子供らしいかんむりをつくらせる。
- 自分のつくったかんむりを使って楽しさや喜びを味わう。

5. 本時のながれ

		あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
10	準備	はさみ・のり・ボンド・色紙・色画用紙・かがみ・手ふき	・学習の手順について見とおしを立てる。	・かんむりをつくる意欲をもつ。
	条件構想	・かんむりについて話し合う。(フラッシュカード) ・作り方や作る順序。(プログラム) ・自分の頭に合わせて基本の輪を作る。	・自分の見たことやけいけんを話す。 ・だれがどんなときにかぶるか。 ・作る形を考え作り方や作る順序にしたがって作る。	・かんむり作りに対する意欲を盛り上げる。 ・作る形を決める。
	表現	・輪から作りはじめる。 ・配色、形をくふうさせ、美しいかんむりを作らせる。 ・材質を生かし丈夫に組み立てよう。	・プログラムを見ながら自分の考えにそって作る。 ・途中で鏡にうつして見て、形や配色を見、よりよいかんむりに仕上げる。 ・美しい色や形であらわすくふうする。	・輪につけるつけ方を考えながら作る。 ・配色、形、材質を生かすくふうをする。
	鑑賞	・製作途中で作品を頭にのせて出来ばえを話し合う、そして楽しさを持たせる。	・友だちの作品の出来ばえをみて、頭にかぶって楽しさや喜びを持つ。	・友だちのよいところ自分のよいところみつける。 ・作品を見て作る喜びを味わう。

3. 指導計画



4. 本時のおさえ

- 自分の頭に合わせて輪をつくり、色画用紙や色紙の使い方をくふうして美しくかざらせ、楽しいかんむりをつくらせる

「私達のまち」の絵を見て

指導者 森 厚 夫
児童 東小学校3年40名

1. 題材について

- 景色を見て描く場合には、描こうとするものの感じとまわりのものとの関係をよく見ることが要求されるが、それがどの程度なしとげられているかを作品の結果から見させる。
- 子供達は鑑賞することよりも表現することを好む段階である。したがって表現活動に付帯しながら鑑賞学習を進める。しかし、もっとも鑑賞力を高めるのは表現したあとで鑑賞させる方法である。だから学習の延長として扱う。
- 3年生段階として、十分な技法を知らず色をにがらしたり形がとれない事もあるが、そういうことにはあまりとらわれず、表現しようとした中味は何であるか、それが十分よく表わされているかを見させるようにする。又苦心した作品を尊重して、自分の気のすむまで作品と取り組むという態度をつくる為、その苦心をよく見させるようにする。

2. 題材のめあて

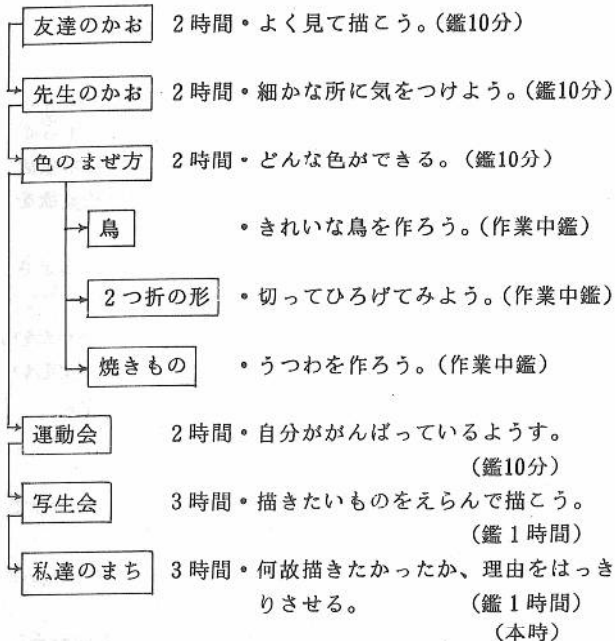
- (1) 景色を見てかいた絵について、そのよさや表現のしかたの違いを見わけることができるようにする。
- (2) 表現のしたかの違いについて比較させて、そのよさがわかるようにする。

5. 本時のながれ

	あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
5	準備 • 話し合いの条件を知らせる。 • 司会、班での話し合いの方法。	• 班長中心の話し合いの準備。	• 何について話し合うか考えさせる。
10	班話 • 班長司会で1人1人発表、話しあわせる。	• 誰の絵がみんなの学習になるか話し合う。	• どの絵が一番描こうとしていることが描けているか発見させる。
30	鑑賞 • 司会者を中心に、班の代表者を発表させる。 • 表示方法、発表方法を知らせる。	• 作者との交流を大切にする。(質問(反問)) • 気がついたことは、どしどし発表する。	• 友人の苦心に気づき、それが大切なことに気づかせる。 • 自分の絵と違う考え方に気づかせる。
5	整理 • 次回の意欲をもたせる。	• 次回の希望を考えさせる。	• 描いた絵を大切にすることをもちかたせる。

- (3) 作品について、その意図や方法を話し合わせ興味をもって作品を見ることができるようになる。
- (4) 作品を大切にすることをもちかたせる。

3. 指導計画



4. 本時のおさえ

- 会員参加の話し合いが出来るように導く。
- 次回の学習のはげみ、希望を持たせる。

<小4・絵>

笛をふく人

指導者 高橋 ミチ
児童 稲田小学校4年43名

1. 題材について

- ・ものを見てかくということは、写しとることを身につけるのではなく、児童それぞれのとらえ方によって対象を見なければ価値がなく、見ることによって今までの概念をこわし、新しい認識を深めていくところに、ものを見てかく意義があると思う。
- ・ここでは人物をかくことにより、主体的な人物のとらえ方、人物の認識の深まりを期待したい。

2. 題材のめあて

- ・人物の特徴を身体の姿態から、服装から、環境からとらえるようにさせる。
- ・その人の感じができるように、考えながら絵をまとめるようにさせる。
- ・最後まで誠実にかけ続ける態度を育てさせる。

5. 本時のながれ

時間		あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
5	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・画板、水彩えのぐ、筆、竹ペン、墨汁 ・筆の使い方や、色の出し方が工夫されているかを確かめながら仕上げの彩色をすることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時にかいた絵について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵全体の色の調和を考えさせる。
10	条件構想	<ul style="list-style-type: none"> ・混色や、色の調和を考えながら、笛をふく人をひきたてる色を見つけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕上げの彩色をする工夫。 ・色では表現されないこまかいところを線で表現する工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かいところまで表現することができる効果的な線を考えさせる。
25	表現活動	<ul style="list-style-type: none"> ・パレットや筆がきれいであるか確認。 ・彩色に必要な色を豊富にだしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の構想に従って仕上げの彩色をする。 ・こまかいところを線であらわす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その人の感じが表現されたか確認。
10	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでよい絵を選びみんなに見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えがあらわれているか確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちのよさを認めあう。

3. 指導計画

ボールで遊ぶ	1時間	観察表現力をつちかう。
ポスター	2時間	色の組み合わせ
つるすかざり	4時間	色光の美しさ
笛をふく人	5時間	

- ・教科書の作品を見ながら話し合い
予定を立てさせる。 …… 1時間
- ・グループでモデルを決めスケッチ
させる。
- ・スケッチに従って下絵をかかせる。 …… 1時間
- ・下絵に彩色させる。
- ・友だちの作品を見てよさを認めあう。 …… 3時間
(本時) $\frac{5}{5}$

4. 本時のおさえ

- ・かいた人の特徴をうまくとらえて、絵にまとめさせる。
- ・筆の使い方、色の出し方に注意させる。

運動する人

指導者 成田 隆
児童 芽室小学校5年37名

1. 題材について

休み時間のベルと同時にグラウンドにとびだしていき、野球やサッカー、機械運動などに興じる子ども、グラウンド開き、運動会などでのエネルギッシュな動き、それらを見ていると運動せずにはいられないといった、おさえるところのできない、生き生きと動き出す力を感じとることができる。日常そうした力を学習の場はどう向けさせるかということで、学級づくりの面から、教科と生活のかかわりの中で考えてきた。生活の中で興味ある「運動する人」を主題にすることによって、より表現活動を意欲的にさせ、動きのある人間の形を追求する中で、彫塑としての動勢表現とはどのようにするものなのかをつかませたい。

彫塑については、四年生で対象の量感や特徴を感じとり大づかみな表現ができることをねらいに、頭像づくり、すわっている人、ボールで遊ぶ人（浮きぼり）とねん土でつくることを中心に学習しており、かなり興味をもっている。しかし、細部の形にこだわり、全体と部分、部分と部分のつり合いを見ながら、全体をとらえるといつたとりくみに弱さがある。ここでは、線材を使ってのしんづくりと石こうじかづけによる肉づけを通して、もとなる形や動きのある形を全体としてとらえ表現できることを期待したい。

5. 本時のながれ

教師のおさえ	学習活動	留意点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習めあてを確かめさせる。 ○ 各自のねがいははっきりさせる。 ○ どこに気をつけていたら自分のねがいが達成できるか話し合わせる。 ○ 材料の性質と仕事の順序をおさえさせる。 ○ 制作、大まかな面で追求させる。 ○ 部分と全体を見ながら全体をとらえさせる。 ○ 作品の中にねがいがあらわされたか話し合わせる。 ○ あとしまつをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習についてふりかえり、今日の学習について考える。 ○ 各自あらわそうとしていることをはっきりさせる。 ○ どこに目を向けるか考える。 ○ 仕事の順序を確認する。 ○ 石こうをといて大まかにつける。 ○ まわりから、もう一度よく見て、全体と部分のつり合いを考えてつける。 ○ 自分のねがいが達せられたか作品を見て話し合う。 ○ あとしまつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きい動きに目を向けさせる。 ○ 手ぎわよく仕事をさせる。 ○ まわりから見るようにさせる。 ○ 全体と部分のつり合いをつかませる。 ○ あとかたづけをしっかりとらせる。

2. 題材のねらい

- 動作をしている人をテーマに動きのある表現をさせる。
- しんづくり、石こうのじかづけをして彫塑的につくる経験をさせ個性的表現力を深める。
- 制作を通して動きや量感などの感じをとらえて表現することができる。
- 針金を使った彫塑のしんぼうのつくり方、石こうの溶き方、つけ方を理解させる。

3. 指導計画

- スケッチー友だち同志互いにモデルになって全体の形動きをとらえスケッチする。 …1時間
- しんをつくる—スケッチをもとに大きさを決めて針金でしんをつくり、台木に固定する。 …3.5時間
- 石こうじかづけ—全体と部分の関係や動きを考えながら石こうじかづけをする。 (本時) …1時間
- 鑑賞—動作をしている人の特徴をとらえ、動きや量感が表現されているか。 …0.5時間

4. 指導のねらい

- 全体と部分との関係や動きを考えながら作る。
- 周囲から見ながら肉づけをする。
- 石こうのとき方、つけ方、あとしまつを計画的に進める。

建築現場で働く人

指導者 森戸春樹
児童 大空小学校6年45名

1. 題材について

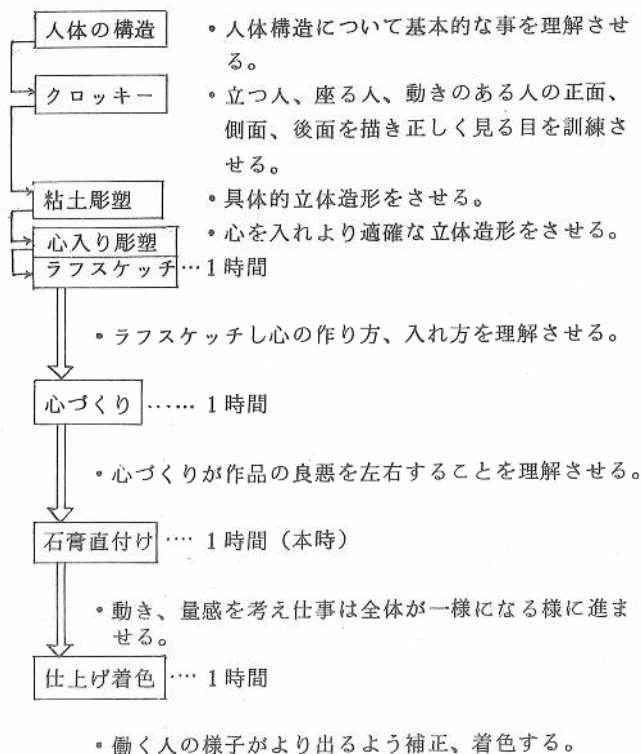
- ・過去経験してきた粘土による立体造形で身につけた表現力を異質な材料である石膏を使用しより高める。また粘土作品がテラコッタにしなければ保存できないことにくらべ、石膏は心棒を入れることにより半永久的に作者自身の手に残るといふこともより創造意欲をかりたてる。
- ・建築現場で働く人（石膏直付け）という題材は、現在大空小学校が増築中であり校舎完成を一日でも早くと願う児童と、その願いを叶えようとする建築現場で働く人とのつながり、又その人々へのより強い関心を児童からひき出すために設定した。

2. 題材のめあて

- (1) 筋肉労働をしている人の状態をとらえて、力動的な表現を工夫させる。
- (2) 人の動きや状態に合った心の作り方を理解させ、彫塑表現の能力を高めさせる。
- (3) 常に立体を意識し前後・左右・上下をながめ全体のかんじをつかみ、細部にこだわらず肉付けし、人物の量感や空間をとらえた表現を工夫させる。

5. 本時のながれ

3. 指導計画



4. 本時のおさえ

- ・動き、量感、バランスを考え石膏直付けをさせる。

分		あたえるもの	表現活動	留意点
5	準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心棒・板・石こう・へら・その他 ○ 石膏直付けで働く人をつくることを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習の順序について見通しをたてる。 ○ 本時作業に使用する材料、道具の点検をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 荒付けを理解させる。
10	条件構想	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動きや立体感をだすためにはどうしたらよいか話し合わせ理解させる。 ○ 適度な石膏・水の分量を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部分としてではなく、全体の動きとしてとらえることを理解する。 ○ 1回の石膏の量を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 細部にこだわらないことを理解させる。 ○ 適度な石膏を作らせる。
30	表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前後・左右をよくみて石膏をつけさせる。 ○ 付けやすい所が太くなりがちなので注意させる。 ○ 手早く、むだなく石膏をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ たえず全体のバランスを考えながら石膏をつける。 ○ むだなく石膏をつかう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ラフスケッチをもとに肉付けを正確にさせる。
5	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の作品を見て自分の作品の悪い所を知り次時作業の参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の者の作品を鑑賞し自分の作品とくらべる ○ 本時のめあてが満足したかどうかたしかめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動きのある人体のバランスを理解させる。

働く人

指導者 小西三雄

生徒 鹿追中学校第1学年35名

1. 題材について

小学校での絵画学習の経験度を十分把握し、且つ中学校1年の発達段階をおさえて、表現活動の領域を広める。

木版の下絵、彫る、刷るという一連の学習活動は、一般の手による描画と違って実際に肌で感じる要素が多分にあり、技術的な面でも学習する内容が多い。自分の手を使って描き、彫るという原始的な方法は普遍的なもので、そこに現代的な感覚をふまえながら創造性を養う学習は造形教育の本随である。又、他の教科に与える教育的価値は多大であろうと思う。

地域実態からみて、農家の生徒が多く、労働する人達の姿、動物を通してのふれあい等、日夜経験する中で自分達の生活環境を見つめさせながら表現活動を高めていきたい。

5. 本時のながれ

時	教師の活動	生徒の活動	留意点
10	本時の学習内容について確認する。	今迄の流れをふまえ、本時のねらいを話し合い、発表し合う。	グループ毎
30	表現する用具について、彫刻刀、釘その他の使い方を考えさせる。 技法を確認し仕事に入らせる。 机間巡視をし個別指導をする。	どういふ所にどういふ刀を使えばよいか話し合う。 版木を彫ったり削ったりきずをつける。 互いに作品を見せ合って、彫り具合を確認し合う。	グループ毎 けがの防止 個々、仕事のしやすい方法、要領線、面の残し方、白、黒の割合いに気を付ける。
10	気付いた事、模範となるような技法を知らせる。 再び仕事をすすめるよう指示 本時のまとめをする。	全員手をおいて参考となった作品を見て考える。 彫る。 まとめをし発表する。	グループ

2. 題材のめあて

- (1) 主と従の関係を意識し、何を中心にするかといった画面構成を考えさせる。
- (2) 表現材料の特質を考え、彫り、刷りの基礎的な技法を学習させる。
- (3) 版画独自の白黒の割合い等造形的要素を十分考えさせ楽しく、生き生きと作業する態度を身に付ける。

3. 指導計画

- | | |
|------------------|------------|
| (1) テーマ設定とデッサン | 1時間 |
| (2) 下絵についての話し合い | 1時間 |
| (3) 下絵を写し、彫る | 3時間(本時2/3) |
| (4) 試し刷り、本刷り、仕上げ | 1時間 |
| (5) 鑑賞 | 1時間 |

4. 本時のおさえ

- (1) 写し取った下絵にもとずいて彫る技法を身に付けさせる。
- (2) 彫刻刀の型とその使い方による線、面の表わし方を知らせる。

<中1・デ>

『知らせるデザイン
— クラスの仕事 —』

指導者 宮 沢 克 忠
生徒 帯広第一中学校1年43名

1. 題材について

「色と形の基礎練習」から「知らせるデザイン」としてこの題材をとりあげてみる。

本題材は中学校の生活にもなれ自分の学級にも愛着を持ち始めるこの時期に生徒の日常生活に主題を求め、学級各部の活動内容を図表にして生徒自身の意志の伝達（知らせるデザイン）を工夫する事はデザインに対する関心や美的感覚を養い、基礎練習の応用として適している題材と考える。又学級生活の向上としても教室美化、グループ活動にもその効は大きいと考える。

2. 題材のめあて

1. 色と形の基本を理解し、より効果的な表現を工夫する。
2. 知らせるデザインとしての条件を理解し、美的感覚を養う。
3. 表現活動を通して、集団生活をする能力とその責任感を養う。
4. 表現技法を研究する。

5. 本時のながれ

時間		学習活動および内容	指導上の留意点	備考
5分	導入	・前時の学習から色・形・材質について簡単に話し合う。	・色、形、材質と文字の重要性について説明しそれぞれの特徴について気づかせる。	・参考作品 ・ハサミ ・のり
20分	展開	・各グループの班長から制作計画と係分担について要点のみ発表する。	・各グループの係分担が適切に行れるよう個人差等を考慮し、協力する習慣をつける。	・水彩用具 ・定規 ・カラーケント
20分		・各分担毎に各自アイデアスケッチをする。	・生徒個々の発想を大切にし、とくに次の点において留意させる。 ①内容をわかりやすく ②全体との調和を考て色や形を決める ③文字、絵の具の材質や特質を考える ④新鮮さのあるもの ⑤展示して美しいもの	紙 ・マジック ・布（カラー） ・クレヨン
5分	整理	・本時のまとめ 各パートの進捗の確認とその指導 2～3のアイデアスケッチを例としてあげまとめる。 ・次時予告（本時の継続）	・各グループ毎にまとめさせ、その進捗と出来具合を反省する。	・写真

3. 指導計画

- ・学級の部を単位として図示する事項をまとめる。……1時
- ・各自アイデアスケッチをし、全体のレイアウトをする。…2時
- ・係分担をし各パート毎にデザインする（本時）…3時
- ・ “ ” ……4時
- ・各パートの作品をあつめ計画にそってコラージュする。……5時
- ・作品完成と反省及び評価 ……6時

4. 本時のおさえ

1. 全体の構成（条件）を考えながら自分の分担をデザインできるようにする。
2. 色、形、材質を考え効果的なデザインをする。
3. 効果的な表現技法を研究をする。
4. グループ内での分担の役割と責任を考え積極的に参加する。

6. 評価

1. 内容に合ったアイデアスケッチが出来たか。
2. グループ活動は活発であったか、（制作中の相談、リーダーのまとめ、準備するもの等）

<中2・絵>

身近なもの

指導者 岡 沼 秀 雄
生徒 帯広第三中学校 2年40名

1. 題材について

自我意識の芽ばえと共に客観性が育ち生徒の創造（表現）活動は、観察 → 発見 → 表現という過程を辿るようになる。帯広の中学生に見られる一般的傾向として2年生あたりの段階でこの傾向が強くなり、とりわけ観察・発見から表現へのつながりが円滑に進まず壁となっている。

この題材は、そうした一連の過程に添うもので表現の前にある壁を突破させるために適切なものであると思われる。

2. 題材のめあて

- (1) 深く見つめる（観察）ことによって、日常自分たちが見なれ、使いなれた用具や道具が持っているおもしろさ（美しさ）を発見させると共に、ものへの深い親近感を育てる。
- (2) ものの組み合わせ方によって生まれる新鮮な変化のありさま（美しさ）に気付かせ(1)のめあてと合わせ表現への意欲を持たせる。
- (3) 受けとめ（発見）た自分のイメージ（美しさ）を効果的に表現できるための描法を捜させ工夫させる。

5. 本時のながれ

ながれ	指導のねらい	学習活動	指導の留意点
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 諸準備の確認 ○ 本時のねらい、内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用具、身のまわりの点検と整理 ○ 本時のねらいをつかむ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 画用紙・水彩絵のぐ・筆・水入れ ○ パレット・画板・スケッチブック ○ 布・フェルトペン
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな描法を理解させる。 ○ ものから受けたイメージを、たしかなものにする描法（彩色）を工夫し計画させる。 ○ 美しい彩色をさせる。 ○ 次時予告 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経験している描法を整理し理解する ○ 表現しようとするイメージに適した描法（彩色）を考える。 ○ 全体の色調を考えながらも強く興味をひかれているもの（部分）から彩色する。 ○ 次時の予定を知る。終始末 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大まかに描法のちがいを指導する <ul style="list-style-type: none"> ・ 写実的表現 ・ 個性的表現 ・ 単純化した表現 など ○ 作例により彩色方法を指導し、自分の方法を工夫し決めさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パレットと混色 ・ ぬり方とタッチ ・ イメージに適した用具 ○ 個別指導を重点に行なう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備、用具の取扱いなど ・ 批判的になりすぎない ・ 技術指導（手を入れる）はしない

3. 指導計画（6時間）

- なんのために、どんなことを、どのようにやるかを把握させ、グループごとに用意したものの組み合わせなどを工夫させる。
- 見る角度や省略、強調を考え大まかな構図を工夫させる。
- 観察を深めプロポーション、明暗、細部の表現に気を配り素描させる。

< 2時間 >

- 効果的な描法を工夫し彩色させる。
- 鑑賞と反省

< 4時間・本時 1/4 >

4. 本時のおさえ

- ・ 多様な彩色の描法を理解させる。
- ・ ものから受けた印象を大事にし、そのイメージに適した描法で彩色させる。

<中2・工芸>

ひもによるかざりびん

指導者 斉藤健昭

生徒 白人中学校2年33名

1. 題材について

経済成長という華やかさのかげで、大量生産される商品のはんらんはなにかしら、人開が本来持っている、つくりだす喜びや、価値までがかえりみられなくなるような不安をなげかける。

ひもは本来的には、しばる、編む、織る……などの用途をもつがその特性を考えると造形的な可能性を他に持つ。集合されるときに、素朴だが変化に富んだ模様が描かれる。それは曲面にも可能であることを利用して、ありふれたびんを香り高いかざりびんに作り上げる。

いろいろな抵抗を克服し、自らの手でつくりだされたかざりびんが、画一的な既成品にうまった生活をうるおいのある、あたたかいものにしていくことの喜びを味わうことにより、自らの生活を創造的にし、更に新しい価値感を高めていくものと思われる。

5. 本時の展開

2. 題材のめあて

- 生活に美しさとうるおいをもたせるものの創意工夫の楽しさを味わわせる。
- 制作・完成の喜び、更にそれを身近に飾る喜びを味わわせる。
- 材料の特質を考え、独創的な創意工夫をさせる。

3. 指導計画

課程設定	工芸学習・日本人の生活と民芸品 題材について・製作条件について 材料について	1時間
解決努力	・アイデアスケッチ 抽象的な模様 デザイン学習の発展 ・製作、手順、技法、用具の工夫 想のうごき、表現のたしかめ ・仕上げ	6時間 本時3/6
鑑賞	・観点、表現上の基本要素や製作条件	1時間
評価	・作品、アイデアスケッチ、チェック、自己評価	

4. 本時のおさえ

- 接着の技法を工夫する。
- 前時の学習をもとに、アイデアを発展的に工夫する。

時	学習過程	学習内容	生徒の活動	指導の留意点
10	課題設定	本時学習内容の確認	前時までの学習をふりかえり、留意事項を思い出す。OHPに集中する。	OHPにより前時までの学習を想起させ、意欲を喚起させる。
	解決努力	製作する。	手順を工夫しながら作業をする。	全体と部分の関連を考えさせる。材料の特質を考えさせながら、効果的に使用される。接着に慣れさせる。(手順・技法の発見・広げる)。想を発展させる。安全。
	習熟	スケッチの確認 ↓ 進度のめあてを持つ 技法の工夫 想のうごき可	<ul style="list-style-type: none"> 接着剤をぬる。 ひもをはる。 近くの友だちの作品をみつめながら 協力する。 	
	交流	表現をたしかめる。 基本要素、ねらいとの照合	グループ討議 <ul style="list-style-type: none"> 作品の抽出 観点に従って認め合いはげまし合う。 自分の作品をみつめる。 	観点を明確にする。 製作意欲に迫らせる。
	次時予告	次時への課題をもつ	本時のたしかめを次へのあしがかりとする。 あとかたづけ	進度の調節を留意させる。 作品の保管に留意させる。

<中3・彫>

「仲間たち」を意図するものを表わそう

指導者 小室 史
生徒 帯広第6中学校3年38名

1. 題材について

- 日常生活にあっては人の和や連帯意識の重要性を理解させ彫塑教材の可塑性を生かして意図したことを強く表現させていきたい。
- レリーフの微妙な高低の変化による立体表現の美しさを味わせ技法を理解させたい。
- 学習時間が十分に確保できない実情の中で短時間に課題追求する態度を身につけさせることにより自信をもたせたい。

2. 題材のめあて

- (1) テーマに対する主体的な意図を立体表現させる。
- (2) レリーフ独得の表現効果と美しさを習得させる。

5. 本時のながれ<石こうどりをする 2>

(3) 石こう型どりの技法と要領を理解し作品のできばえを味わう。

3. 指導計画

- a テーマとデッサン 50分
 - ・テーマについて論じ合う。
 - ・意図するものをデッサンする。
- b レリーフをつくる 50分
 - ・粘土で高肉彫りの技法で表現する。
- c 石こうどりをする<1> 50分
 - ・め型づくりと粘土のかきだしをする。
- d 石こうどりをする<2> 50分<本時>
 - ・流し込みと割りだしをする。

4. 本時のおさえ

- 技法を理解させ意図した表現の喜びを味わせる。

時		あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
5	準備	○ 石こう、石こう液、石こう容器、石こうべら、割りだしのみ、木づち、ペンチ、紙箱、その他	○ 本時の学習の手順について見通しをたてる。 <図解で示す>	○ 図示されている事項に各自で見当をつける。 用具の確認、制作時間
5	条件構想	○ 石こう流し込みの要領を説明する。 ○ 割りだしの要領を説明する。 図解、用具の使用法	○ 説明に従って制作の心がまえを自覚する。	○ 制作の不安はないか確かめさせる
35	表現	○ 手違いのないように作業させる。 ○ 用具、石こうの扱い方になれさせる。 ○ 作品を破損させないよう扱わせる。	○ 石こう流し込みをする。 ○ 割りだしをする。	○ 熱中させる。 ○ 質問や手違いを言わせる。
5	鑑賞	○ 原型どおり完成した喜びを味わせる。 ○ よいものをえらばせる。	○ 作品を見る。 ○ 自分のテーマに対する意図があらわれているかどうか確かめる。	○ レリーフの技法やよさ、特徴を知る。

<高1・描>

版画 森の詩^{うた}

指導者 中谷有逸
生徒 帯広柏葉高等学校18名

1. 題材について

版画の種類や、その表現効果の特色を理解し、制作することにより、版画制作・鑑賞への興味や関心を高め他の表現分野にも幅をあたえ、新しい可能性をさぐる手がかりにもさせたい。

また構想による表現をするとき、とかく表現技術の未熟さから、文学性のみが先行し、絵画としての造形性の質的なたかまりを伴わないことが多いが、版画は、技法の特殊性から、形態や色彩に自ら制約が加わり、それが造形上のきびしさとなって質をたかめたり、また、刷りについて、版材の生む、何ものにも変えがたい材質感の魅力が、作品の魅力にもつながっていくことが多い。

このように版画は 構想的表現にずいぶん適した側面を持つのであるが、しかし逆に、この点に版画の大きなおとし穴のあることもたしかなこと、指導には十分留意しなければならないことである。

2. 題材のめあて

版画作品が完成するまでには、少なくとも、デッサン（発想）・製版・刷りの三つのちがった作業を経なければならない。したがって、初めの感動を持続させ、計画的に表現していく態度が必要となる。

また、版の表現効果の特性と作者の個性や表現の狙いをうまく合致させなければ質の高い作品はできない。

これからのことを体験的に学ばせながら、生徒の創造性をひきだしながら、豊かに構想させていきたい。

5. 本時の流れ

指導のねらい	学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> • 本時の学習内容と仕事の手順の確認 • エスキースを刷らせ、インクのふきとり版材、加工法などの効果をたしかめさせる。 • 版の表現効果を理解させ、各自の構想を深めさせる。 • 次時予告 	<ul style="list-style-type: none"> • 本時の学習内容・手順・意義を理解する。 • インクのふき方に工夫して3枚刷る。刷りあがった作品を見て、この版の表現効果の特徴や版材、技法の効果を理解する。 • テーマを再確認し、版の表現効果を生かしながら構想を深めさせ、デッサンする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 3枚刷るときには、インクのふき方に変化をつけさせる。 • この版種での表現の可能性を更に追求する態度も忘れずに。

3. 指導計画

版画について	(1時間)
版種とその表現効果	
構想をねる	(2時間)
テーマの解釈・アイデアスケッチ、資料の収集	
エスキース制作	(2時間) 2/2本時
版の表現効果の理解、刷りの体験	
構想を深めデッサンする	(3時間)
版種や版材の表現効果を考慮し構想をまとめる。	
版下をつくる	(1時間)
トレーシングペーパーにデッサンを転写する。	
製版	(4時間)
版材の決定、加工法の工夫(形どり、はりつけ、はぎとり、ボンドの使用など)	
刷り	(2時間)
試し刷り、修正、本刷り	
鑑賞	(1時間)
計	(16時間)

4. 本時のおさえ

- 刷りの要領を体得する。
- インクのふきとりや、版材の表現効果を理解する。
- 版の表現効果を生かして自分の構想を深めていく。

砂利工場で見たこと

指導者 大越 哲也
児童 下人舞小学校 5.6年11名

1. 題材について

子供達の住んでいる村に、近代的な砂利工場（アスファルト、生コン）ができて、まわりがにぎやかになった。登下校の途中など工場の人達（限反対策として部落からこの工場に出稼に行っている）

工場の車・工場の様子・動力機械に興味を持っている。

子供の生活に直接、間接的に親しみをもつようになった日ごろ子供達がなにげなくながめていた工場の建物・機械をよく見つめ表現させることによって、工場から受ける感じ・形・色などを発見し生々と力のこもった作品に導きたい。

5. 本時の流れ

2. 題材のめあて

- (1) 画面をくふうし構成する力を養う。
- (2) 建物・機械を観察しこれを創造的に表現する。
- (2) 色の調子を考えて彩色する。

3. 指導計画

- 建物・機械のスケッチをする 1時間
- スケッチをもとにして下絵をかく 1時間
- 色の調子を考えて彩色する 3時間(3/5)本時
- 作品を見せ合い話しあう

4. 本時のおさえ

- 自分のイメージを大切にし、色の調子を考えて彩色する。
5年 6年
主調色・濃淡 全体色と部分色・濃淡
質感 質感 調和
- 準備 絵の具、筆、パレット、スケッチブック、画版
白ボール 新聞紙

(同教材同単位学年差)

		あたえるもの	表現活動	ひきだすもの
5	準備	学習活動に使うものを用意させる。 下絵に彩色することを知らせる。	• 学習の手順・めあてをよく理解する。	• めあてをよく聞く
15	条件構想	話し合いによって表現のためのイメージ化を図る。	• 自分のイメージに近づけるために具体的に話しあう。 • 全体の配色を考える。	• 自分のイメージをきちんとつかむ。
20	表現	彩色における諸注意や問題点を示してやる。 • 混色 • ぬり方 • パレットの使い方	• 中心になるものから…全体と部分をよく …思い切ってかく。…見て彩色する。 • 下絵の線を生かす • 混色をする • 水のかげんをくふうする • 色の調子を考える。	• 画面全体を美しく配色する。
10	まとめ	自分の作品と友達作品をくらべ、よい点を指摘し次時作業の方向を与える	• 自分の作品と友達作品とをくらべ、よくできたところ苦心したところを発表する。	• 自分の作品と友達作品の相違に気づく、よい所を見つける。

昭和47年 第22回 大会役員一覧

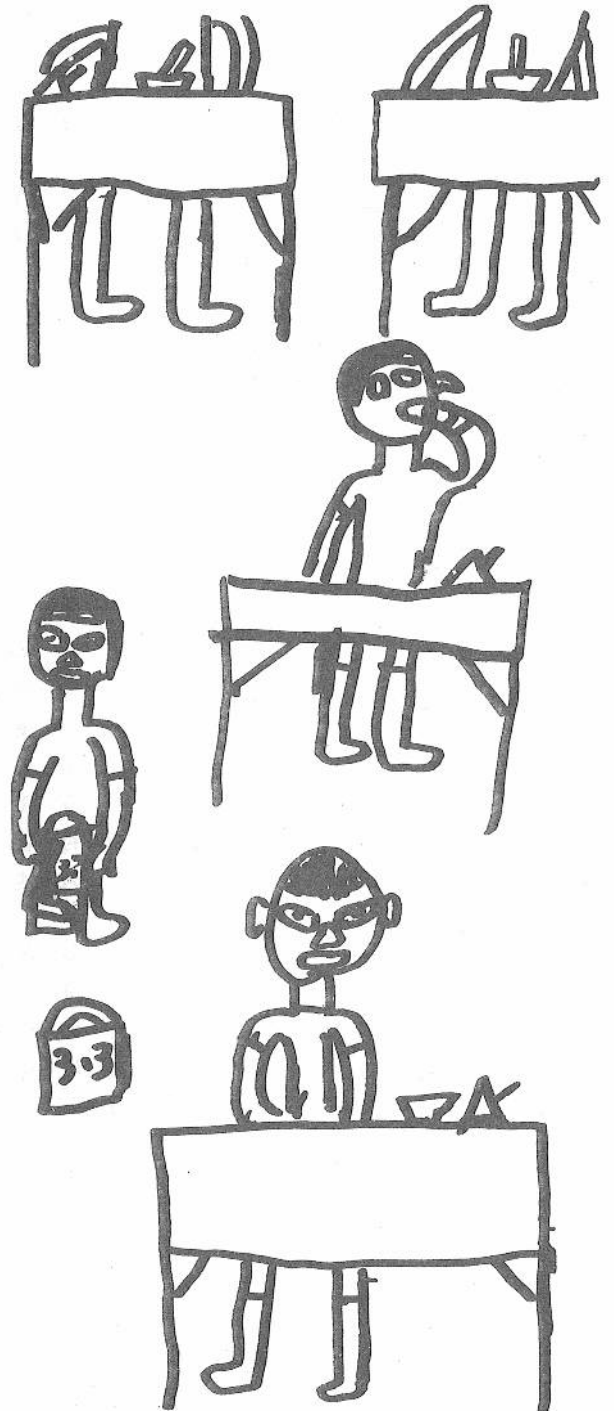
大会委員長	北海道造形連盟委員長	高橋 栄吉
大会副委員長	帯広市立緑ヶ丘小学校長	藤田 平治
	幕別町立糠内中学校長	村上 悟
大会参与	帯広市教育委員会教育長	上田 章
	北海道教育厅十勝教育局長	梅山 源悦
	北海道教育厅十勝教育長部 会会長	村田 政之
	十勝サークル協議会会長	柳谷 文雄
	帯広市教育研究会会長	池田 健
	十勝造形サークル顧問	富田 鉄雄
	元 帯広造形サークル委員長	平塚 義雄
	十勝造形サークル顧問	安達 大元
	帯広市立第二中学校長	太田 清
	浦幌町立留真小学校長	村田 順之助
	帯広市立北栄小学校長	中村 和吉
大会 運営委員長	帯広市立緑ヶ丘小学校	高橋 元春
大会 副運営委員長	幕別町立糠内中学校	加地 保良
大会運営委員	帯広市立柏小学校	安久 達雄
	“ 光南小学校	松浦 一平
	“ 啓西小学校	大貫 正雄
	“ 上帯広小学校	成瀬 登
	“ 東小学校	森 厚夫
	“ 川西小学校	中村 俊昭
	“ 明星小学校	頼田 晃
	“ 清川小学校	男沢 千里
	“ 北栄小学校	豊田 晶子
	“ 豊成小学校	富久尾 豊
	“ 光南小学校	福井 吉三郎
	“ 柏小学校	本間 義視
	“ 緑ヶ丘小学校	伊沢 隆司
	“ 緑ヶ丘小学校	大塚 貢
	“ 柏小学校	大戸 秀夫
	“ 第一中学校	渡辺 禎祥
	“ 第二中学校	小椋 武秋

大会運営委員	帯広市立第三中学校	田口 丞二
	“ 立第四中学校	武田 伸一
	“ 第五中学校	丸谷 雄次
	“ 第六中学校	園部 信二
	幕別町立幕別中学校	横田 裕美
	北海道立三条高等学校	青木 清一
	帯広市葵南幼稚園	大高 徳照
大会事務局長	帯広市立第三中学校	田口 丞二
次長	“ 光南小学校	松浦 一平
大会事務局員	帯広市立第五中学校	丸谷 雄次
	“ 柏小学校	安久 達夫
	“ 上帯広小学校	成瀬 登
	“ 緑ヶ丘小学校	高橋 元春
	“ 豊成小学校	富久尾 豊
	幕別町立幕別中学校	横田 裕美
	“ 糠平中学校	加地 保良
	北海道立三条高等学校	青木 清一
	帯広市葵南幼稚園	大高 徳照
研究部	帯広市立豊成小学校	富久尾 豊
	“ 第五中学校	丸谷 雄次
	“ 北栄小学校	金沢 孝英
	“ “	豊田 晶子
	“ 豊成小学校	高橋 セツ子
	“ 東小学校	森 厚夫
	“ 稲田小学校	高橋 ミチ
	“ 大空小学校	森戸 春樹
	“ 第一中学校	宮沢 克忠
	“ 第三中学校	岡沼 秀雄
	“ 第六中学校	小室 史
	“ 帯広小学校	金子 章
	“ 緑ヶ丘小学校	高橋 元春
	“ “	前田 久芳
	“ 川西小学校	中村 俊昭
	“ 第五中学校	斉藤 真琴
	“ 第三中学校	田口 丞二
	“ 北栄小学校	小棚木 省一郎
	足寄町立足寄西小学校	寺本 吉明
	新得町立屈足小学校	谷内 敏

研究部	芽室町立芽室小学校	成田 隆	受付、接待部	带広市立北栄小学校	河瀬 己巳子
	鹿追町立庭追中学校	小西 三雄		清水町立御影中学校	村上 俊彦
	幕別町立白人中学校	斉藤 健昭		芽室町立渋山小学校	嘉屋 マサ子
	“ 幕別中学校	横田 裕美		音更町立下音更小学校	山本 三和子
	新得町立届足小学校	紺野 哲明		鹿追町立上幌内小学校	千葉 恵美子
	士幌町立上士幌小学校	岡沼 淳一		带広市立光南小学校	国中 恵美子
	豊頃町立豊頃小学校	空 嘉英	記録部	带広市立清川小学校	男 沢千里
	更別村立更别中学校	山元 勝雄		“ 大空小学校	谷川 敏
	中札内村立内札内中学校	中西 亮昭		“ 带広小学校	北 信子
	清水町立松沢小学校	湯川 守		“ 広野小学校	田村 富子
	清水町立下人舞小学校	大越 哲也		“ “	佐藤 忠司
	北海道立柏葉高等学校	中谷 有逸		“ 稲田小学校	間庭 百合子
	带広市聖公会幼稚園	天野 和幸		“ 清水小学校	真鍋 暁士
	带広市渡辺学園幼稚園	増田 綾子		“ 北栄小学校	三国 紘子
	带広大立上带広小学校	成瀬 登		“ 西小学校	安藤 和江
庶務部	带広市立緑ヶ丘小学校	大塚 貢		“ 東小学校	筒井 一子
	“ “	坂上 博昭		“ “	橋口 慧
	“ “	高橋 美喜子		“ 明星小学校	松山 智子
	“ “	高井 俊子		“ 稲田小学校	糸川 昌子
	“ 明星小学校	高橋 重嬉		“ “	鈴木 新子
会計部	带広市立第二中学校	小椋 武秋		“ 第四中学校	守谷 通利
	幕別町立糠内小学校	野々村 春雄		“ 清水中学校	石田 恵子
会場部	带広市立柏小学校	安久 達雄		北海道立盲学校	井上 泉
	“ “	富谷 道信		“	東 英子
	“ “	本間 義視		足寄町立足寄中学校	佐藤 俊顕
	“ “	須田 哲也		陸別町立上小利別小学校	藤山 信雄
	“ “	丸藤 忠造		上士幌町立上士幌中学校	中谷 茂弘
	“ “	石川 雅代		清水町立清水中学校	片倉 武彦
	“ “	有沢 文雄		“ 清水小学校	佐川 春二
受付、接待部	带広市立柏小学校	大戸 秀夫		忠類村立西当緑小学校	須田 学
	“ “	大道 まき子		本別町立本别小学校	徳永 晃
	“ “	後藤 ひさ		広尾町立広尾中学校	佐藤 龍明
	“ “	白戸 千代子		幕別町立駒島小学校	出村 英和
	“ “	富田 愛子		音更町立光和小学校	平 直秀
	“ 光南小学校	西本 つとめ		幕別町立白人小学校	赤津 達治
	“ 稲田小学校	刑部 貞子		本別町立本别小学校	岡崎 久憲
	“ 北栄小学校	平山 シゲノ		上士幌町立上士幌中学校	谷内 要
	“ “	藤川 タイ子		带広市立東小学校	細川 良雄

記 録 部 上士幌町立上士幌小学校
 " " 帯広市立北栄小学校
 涉 外 部 帯広市立第六中学校
 " 第四中学校
 " 第五中学校
 " 緑ヶ丘小学校
 " " 稲田小学校
 " 第一中学校
 " 大正小学校
 " 啓西小学校
 " 東小学校
 事 業 部 帯広市立第一中学校
 " 明星小学校
 " 第七中学校
 " 西小学校
 " 栄小学校
 新得町立勇足中学校
 忠類村立忠類中学校
 足寄町立足寄東中学校
 士幌町立中士幌小学校
 編 集 部 帯広市立啓西小学校
 " " " " 川西小学校
 " 北栄小学校
 " 明星小学校
 " 稲田小学校
 輸 送 部 帯広市立光南小学校
 " 帯広小学校
 " 稲田小学校
 浦幌町立豊北中学校

日 塔 幸 子
 荒 井 正 春
 後 藤 教 子
 園 部 信 二
 武 田 伸 一
 熊 代 弘 法
 伊 沢 隆 司
 中 原 三 郎
 杉 山 廩 三
 川 辺 金 吉
 高 金 仁 志
 奥 山 好 広
 太 田 道 次
 渡 辺 禎 祥
 頼 田 晃 靖
 霜 村 英 三
 唐 沢 龟 寿
 佐 藤 竹 博
 齐 藤 隆 恒
 小 柳 正 美
 高 橋 正 裕
 葛 西 正 雄
 大 貫 正 雄
 加 藤 次 郎
 中 山 雅 敬
 二 瓶 和 雄
 渡 辺 朝 男
 板 垣 美 智
 桜 井 俊 夫
 福 井 吉 三
 鈴 木 大 登
 実 吉 正 良
 橋 本 正 三



祝 第22回全道造形教育研究大会 帯広十勝大会

・日本文教出版株式会社

本社 大阪市住吉区南住吉町4丁目15番地 TEL. (692) 1261~9
支社 東京都渋谷区松涛2~5~25 TEL. (468) 2581~4
連絡所 札幌市白石区平和通7~北103 TEL. (871) 4564
" TEL. (31) 1932 函館市田家町8の1

小学校	図画工作
中学校	美術
高校	美術・工芸

●姉妹会社 (株)秀学社 代理店 (株)杉山商会

本社 帯広市西9条南14丁目3番地 TEL.(3)3155
北見出張所 北見市中の島町50番地 TEL.(3)4446
釧路連絡所 釧路市白金町5 (勉強堂内) TEL.(2)6993

ワークブック (図工・美術史・デザイン・美術テスト)
スケッチブック (6種)・クロッキー (3種)
鑑賞画 (日本編・西洋編・建築編・彫刻編)

美術・造形教材の総合商社

待望の新彫塑工作材料

《純》紙ネンド《パール》

- ・純粋ハルプ100%の紙ネンドです
- ・全く無害です。防腐剤（ホルマリン）やその他の薬品は使用していません。

あらゆる技法のカラー版画が簡単にできる

《カラー紙版画》

インクのいらぬ版画材です。

鉛のでない無害補薬

- 無鉛楽焼絵具 — 鉛の検出はまったくありません。6色有ります。CMC必要なし。
- 無鉛透明補薬 — 鉛の検出はまったくありません。kg入り。
- 無鉛色補薬 — 鉛の検出はまったくありません。8色各500g入り。

特約店 ヒシエス誠文社 マリス三和 鬼頭商店
 ヒルマ日本教図 NKZ日本教材
 新日本造形 野幌陶芸社

家庭学習をガラッと変えた

リコーシンクロファックス（マイティチャー）貴方の家庭に1台

(株)アサヒ商会

帯広市大通り11丁目17（西仲通り）

代表取締役 猪 保 信 義

TEL. ③8241~3

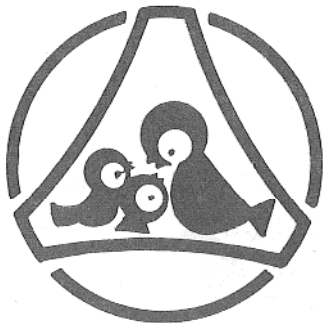
祝 全道造形教育大会

営業品目

知能検査・学力検査・各種検査用紙・辞典・準拠テスト
ワークブック・各種問題集・参考書・書籍・地図・
掛図・図表・紙芝居・スライド・教材写真ニュース・
美術造形教材・理科教材・教務手帖・学級日誌・染め物
材料

代理店

株式会社サクラクレパス
株式会社富士教材・株式会社秀学社
株式会社新日本造形・株式会社大日本教材
株式会社桂屋



株式
会社

杉山商会

本社 帯広市西9条南14丁目
TEL.01552 (代)3-3155番
北見出張所 北見市中の島町50番地
TEL. 01572-3-4446番

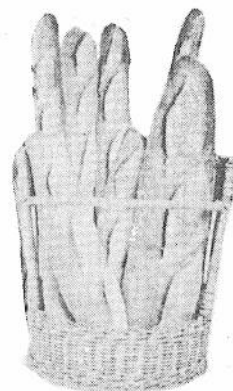
フランスパン & ケーキ 本場の味を ご賞味ください

パリのサンドイッチは新鮮な野菜と肉類を豊富
つかっております。
ご用命下されば直ちにおつくりいたします。
■予約申込-TEL.3-4588



フランスの夢と香りと味が
いっぱい!

〈お気軽にお越し下さい〉



モーニングサービス AM 9:30~AM 11:30
営業時間 / AM 9:00~PM 9:00

いこいのオアシス〈2F〉

パーラーパリ
おびひろ西2南11
TEL 3-9757



フランスパン & ケーキ

パリ PARIS
おびひろ西2南11
TEL 3-4588

祝 全道造形教育研究大会

ナイトシアター

プランタン

帯広市西1条南8丁目3 TEL ③ 4164~5

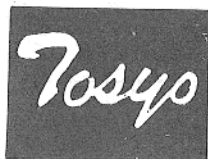
祝

第22回全道造形教育研究大会

東書の教科書

小学校
中学校

- 新しい図画工作
- 新しい美術



東京書籍株式会社

北海道支社 札幌市中央区南1西3札石ビル内 TEL. 241-8987
函館出張所 函館市時任町35-22 TEL. 51-1811

陶芸・彫塑・彫金・七宝焼・木彫・版画材
料・メダル・バッジ・各種記念品の製造

- ◎当社のらく焼釉薬は『無鉛』です
- ◎粘土の種類も豊富です

- ・乾燥しただけでも強く硬化する `色粘土`
テラコッタにも最適 (朱・緑・黒・チョコレート)
- ・児童用に特に調整した `やき粘土`、`白陶土`
- ・ロクロ用に最適 `信楽粘土`
 - ・民芸品向 `古信楽粘土`
- ・焼成すると黒い斑点の出る `斑点入粘土`

◎アマチュア陶芸クラブ併設

(有)北陶社造形センター

札幌市中央区南13西7 TEL. 521-4766



営業品目

アルミニウム・亜鉛・真鍮ダイキャスト製品
並に軽合金鋳物製品・製造加工

豊ダイキャスト 工業株式会社

本社 名古屋市南区豊本通北4丁目12番地

電話 名古屋(代) (691) 6730・6720・6728

万能型強力接着剤

造形工作の

パイオニア

セメダイン
ユニタクト



セメダイン(株)札幌出張所

サッポロ中央区南10西8 TEL. 511-9161

ぺんてるシグナル

桃 黄 橙 緑 青 ¥50



教科書・参考書等のライン引きに
新聞雑誌・文献等のポイント部分のチェックに



¥1,700

ぺんてる 専門家用透明水彩

ぺんてる 株式会社札幌支店
TEL 011 (621) 7151

世界の人々に
Pentel



ぺんてるえのぐF

*やわらかな美しい発色 *微粒子でのびがよい *被覆力があり、ひびわれがない

理化学機器・計測機器・分析化学試薬・医薬品・工業薬品
計量器・事務器・事務用品・産業機器・試験器全般・家庭
電気器具・楽器・体育用品



株式
会社

橘 商 事

本 社 帯広市西7条南11丁目12番地
T E L. (01552) 代(4) - 3372番
営業所 北見市公園町113番地ノ9
T E L. (01572) (4) - 4698番

祝 全道造形教育研究大会

文具・紙・事務用品

古 川 商 店

帯広市大通12丁目14 TEL. ③ - 2731

画材と事務用品 くさかべ 油 絵 具
文 房 堂



あ り た

帯広市西1条南10丁目 TEL.③3236



催しもの御案内

サクラクレパス本舗主催

全国学生図画コンクール入選作品展

日時 7月/30~7月/31 二階特設展示場

独立美術協会々員 空田たけを近作展

日時7/27~8/2 三階うけか和ギャラリー

マツダ油絵具 マツダアクリルカラー
ノーベル油絵具 ポスターカラー

特約店 株式会社 うけか和画材部

帯広市大通9丁目 TEL.③4171

新鮮なバター^の香り
ソフトな甘さ
ポウとれたしの
好きな味

北海道銘菓

開墾の
はじめは
豚と
ひとつ鍋

依田勉三翁作

大臣賞受領・十勝銘菓

大豆の十勝の
おみやげは
吟に入った
甘納豆

大臣賞受領

らんらん納豆
(甘納豆)

銘菓でつづる…

十勝日誌
(銘菓詰合せ)

お菓子と喫茶

帯広千秋庵

TEL④-214730

お買物は何んでも揃う
何時も親切な

帯広市西2条南10丁目

皆様の **かじのビル百貨店**

T (代) ④ 2147

喫茶店・バー・クラブ 家具の専門工場

ボックス・スタンドイス・カウンター・カーテン
特殊装飾壁・カーペット・フラワーデザイン

株式会社 **タケダデザインルーム**

帯広市西3南4 T3-2454

御一報次第、専門係員参上致します

設計監理

窪田建築設計室

窪田 耕一

1級建築士 No26153
帯広市東1の11
TEL ③5448

1階 ホール
2階 お座敷 (小宴会)

食事の店

はやし

帯広市西4条南10丁目 TEL ③ 9339

大和写真館

帯広市大通南11丁目 電話 代表 ② 8811番

第17回 新道展公募

搬入 8月10日 (木) 10.00~ 18.00

札幌市民会館

会期 8月15日 (火) ~ 20日 (日)

会場 札幌三越デパート

お式から披露宴まで幸せを演出する

結婚式・各種パーティ
会場・各種仕出し 只今予約受付中

(株) グランド・パレス別館

寿御苑

帯広市西7条南6丁目2番地

電話 ③ 1388番



祝 第22回 北海道造形教育研究大会

旅のおやつにお土産に
さん

大臣賞
受賞銘菓

ほろ ろく
三方六

銘菓と洋菓子

 **柳丸**

駅前店 西2条11丁目
大通店 大通り8丁目

帯広みやげ

銘菓 **そばやき**
マークイン



おびひろ

竹屋

TEL ③ 1758

本店 西2条8丁目
支店 西2条10丁目
売店 ステーション地下街

美津濃カップ印・東京 ジャイアント印

■スポーツ用品なら何でも揃う

有限
会社

フジタ・スポーツ

オビヒロ西1南12 TEL②7550・7551

全道美術協会

▶巡回展 旭川・室蘭・釧路・根室・美唄・苫小牧7.28-8.1
帯広8.11-17

第14回 学生美術全道展 会期8.22-27 札幌④

事務局 札幌市東区北33条東5丁目 砂田友治 TEL 731-3606

祝 全道造形教育研究大会

帯広旅館組合

事務所 帯広市大通9丁目8
TEL③-3602
佐賀野屋旅館

現場のご意見を生かした

開隆堂の教科書

小学校…図・工科、家庭科
中学校…美術、技・家科、英語科 語
豊富な参考書

発行所 開隆堂出版株式会社
発売所 開隆館出版販売株式会社

本社 東京都千代田区神田
北海道出張所
札幌市南1条西4丁目日之出ビル6階
〒060 TEL(011) 231-0403

ストレートコーヒの
美味しさを皆様と共に

おびひろ

茶房

飛鳥

第47回道展公募

搬入 11月17日(金)
札幌市民会館
会期 11月21日(火)～26日(日)
会場 ①デパート10階
規格 自由

第24回 こども道展

〆切 12月31日

めがねの水晶堂

帯広・平原通り TEL3-2778



音楽で豊かな心を育てよう
(鍵盤ハーモニカ)

メロディオン

鑑賞、歌唱、創作の補助に
独奏、小アンサンブル、合奏を楽しく
基礎的能力を身につける

メロディオン株式会社

札幌営業所 札幌市中央区南4条西8丁目
T 221-1841
帯広連絡所 帯広市西15条南17丁目2浜中方
T 4-2938

祝 全道造形教育研究大会



藤丸

TEL (代) ④2101

焼^{チヤ}

飯^{ミン}

の

世界一

T ②—六三三三二

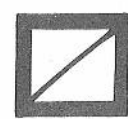
割烹^{カク}の

第一会館

T ③—三六七四

魚^{イサ}

の



東

T ③—四一三五

帯広味の

会 人 入

そば^{ソバ}

の

田 本

T ②—六三三三三

お食事^{オシジ}の

フジモリ

T ③—四〇六一

レストラン

三六昌

T ③—二六九七

寿司^{スシ}の

北野屋

T ④—三九五六

画廊 喫茶

ウィーン

ふくお ゆたか (荒土会会員)
油絵個展 (太陽シーズより)

会期 7/1~7/31迄

おびひろ西2の南8丁目 TEL③7265

※ 三浦良男ヒマラヤ写真展
7月20日~8月20日

珈琲と音楽

川

帯広市西1条南10 TEL④1790

個性と創造!
まったく新しい
レコードの

ムジカ

帯広市西2-9二条ビル2F
TEL④6644

コーヒーの店
大通12丁目
T3-8511

丘

本間義視個展
7月1日~31日

純 喫茶

明るい
落ち着いたムード

ブルボン

広い静かなホール

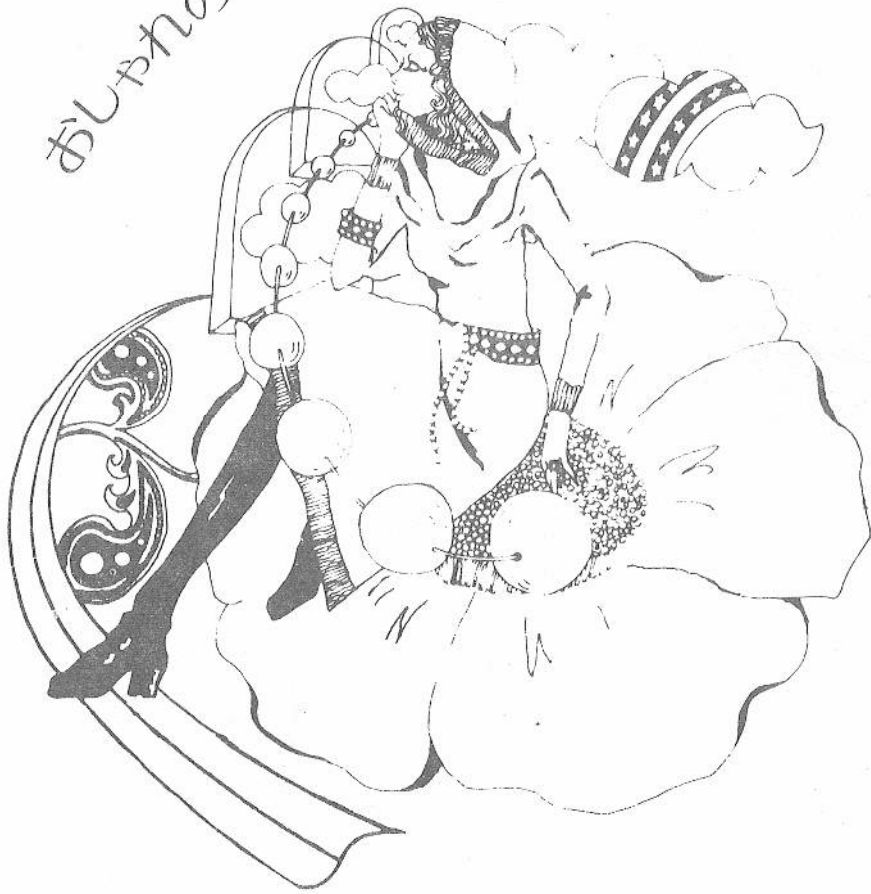
おびひろ西2の11
TEL 3-6310

純喫茶

虹

二条ビル地下
おびひろ西2の9
T3-1837

おしゃれのデパート 長崎屋帯広店



新しいおしゃれと暮しのショッピング



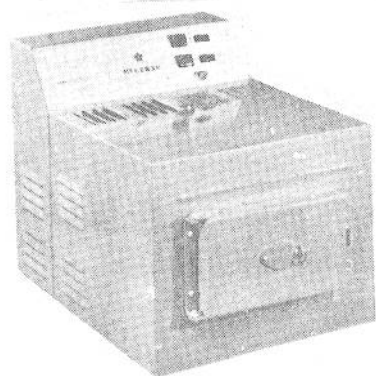
帯 広
長崎屋

帯広市西2条南9-7

サン・ショッピングセンター

サクラ 文部省制定^{図工美術}教材基準該当品

サクラ七宝電気炉 ¥48,000



- 熱効率も非常によく温度むらも殆んどない
- 最高温度 1,400℃
- 楽焼から本格的陶器焼成に最適

- カートリッジ式特殊ヒーター
短時間焼成
- 電灯線でOK
- 保護回路付きで安全

サクラ 焼窯

40型一式 ¥79,000

60型一式 ¥99,000



株式会社 **サクラクレパス**

本社 〒537 大阪市東成区中道1丁目10-17 TEL. 大阪06(972)1241(代表)
支社 〒101 東京都千代田区三崎町3-1-16 TEL. 東京03(263)4221(代表)
札幌営業所 〒060 札幌市南四条西13丁目1314 TEL. 札幌011(561)4487

株式会社 聖文社

東京都豊島区高田1の6の13
T 987-2331

作品集 日本子ども美術館
小塚新一郎 監修
桑原寛

B4 変型 224ページ
カラー作品 176点
解説 22ページ
定価 5,000円

NHK全国教育美術展特選学校賞
作品から厳選した176点集録

取次店 株式会社 日 教 販

札幌市菊水南町4の27 T 011-81 4206

帯広販売店 田 村 書 店

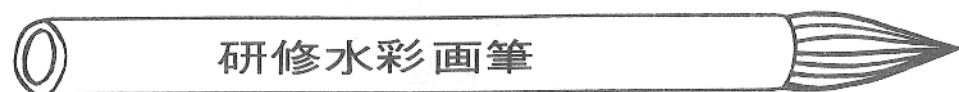
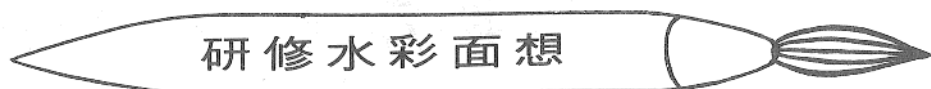
帯広市西2条南7丁目 T 4-5424

全国造形教育連盟推薦

文学堂研修画筆

他にまねのできない描きあじ最高! 子どもが喜ぶ

足毛筆



研修筆
北海道代理店

札幌	富貴堂	苫小牧	相馬紙店	北見	北見商事
"	大丸藤井	"	西沢商店	帯広	有田販売KK
"	中央紙文具	滝川	中川文潮堂	"	竹中KK
小樽	谷藤商会	旭川	文学堂旭川営業所	"	丸文KK
函館	大和KK	"	KK旭屋	釧路	須貝紙店
室蘭	三宅紙店	"	(株)ヤマハン	"	山一商事

本社 広島県安芸郡熊野町

文学堂製筆株式会社

あなたのお店を美しく演出する
総合スタジオ

広告美術総合看板・商店建築設計施行・催
事展示場企画設計製作・アクリル・プラス
チック加工・広告物維持管理・総合塗装



株式 三ヤシタ
会社

取締役社長 宮下 功

本 社 帯広市西5条南11丁目23番地
TEL(代)④ 2838番
支 店 札幌市豊平2条13丁目11番地
TEL(代)⑧ 1208番
札幌店 札幌市中央区南1条西1丁目
長崎屋札幌店8階事務所
TEL ⑤ 6871番

精肉卸・小売

株式会社 勇屋本店

社 長 佐々木 勇

帯広市 TEL代②-1129

ミートセンター ⑦-2939



画をかきながら学校設備を充実しましょう
教育設備助成運動参加商品

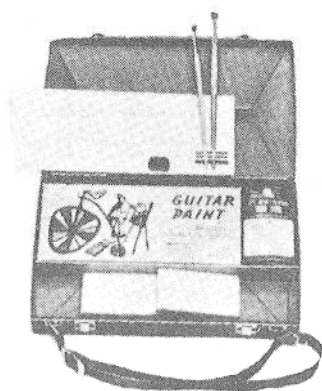


世界の信頼

ギター 描画材

ギターパス
ギターくれよん
ギターペイント

〈ギタースケッチセット〉



® **マジックインキ**
Magic ラッシュヨン Pen

特殊製法による水性インキ！
雨に流れない
水に消えない
水性ペンの決定版！



〈ラッシュヨンペンシルバー〉

大型パレット。
水もれしない
筆洗付

ゴールド ￥ 350
シルバー ￥ 50
鉛筆型 ￥ 30
6色セット ￥ 200
8色セット ￥ 250
10色セット ￥ 300
16色セット ￥ 500
20色セット ￥ 600

ギターえのぐ
マジックインキ
ラッシュヨンペン

本舗 寺西化学工業株式会社

Manan' 12

